

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① 第5回ぐんま子ども・若者支援フォーラムの開催
 - ② 第1回オンライン講演会「不登校の要因を考察する」
 - ③ 第8回ぐんま青少年基本調査の結果公表【私学・青少年課】
 - ④ 令和6年度【9月自殺予防月間】いのち・つなぐ講演会
 - ⑤ ひきこもり支援関係職員研修会 ひきこもり支援の基本

- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室『交流会・外部講師による講話』
 - ② 第15回日本子ども虐待医学会学術集会 JaMSAN in Gunma
 - ③ 県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ35」

- 3) 民間活動団体等の紹介
 - ① 吉岡町社会福祉協議会 心の休憩所～Tsubomi～

1 第5回ぐんま子ども・若者支援フォーラムの開催

近年、貧困や虐待、いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラー等、子ども・若者が抱える困難さは多岐にわたり、その健全な育成に大きな影響を及ぼしかねない状況となっています。

そのような困難な状況の中で生活する子どもや若者を支援する団体等の連絡会として、令和6年5月に設立された「ぐんまの子ども・若者支援ネットワーク」では、9月にフォーラムを開催します。

このフォーラムでは、基調講演やテーマ別の分科会を通して多様な主体による子ども・若者支援について理解を深めるとともに、さらなる連携・協働体制の推進を目的としています。

【概要】

日時：令和6年9月16日（月・祝） 13：00～16：30

会場：群馬県社会福祉総合センター（前橋市新前橋町13-12）
B01会議室、203AB会議室

対象：困難な状況にある子ども・若者を支援している個人および
団体、子ども・若者支援に関心のある方等

内容

第1部 基調講演（13:10～14:40）

テーマ「医療現場から見つめる子どもたちの姿」
講師 群馬大学大学院 医学系研究科小児科分野
助教 小児科専門医 堀越 隆伸 氏

第2部 分科会（14:50～16:30）

・分科会Ⅰ「通信制高校を考える」

発表者 飛鳥未来きずな高等学校 キャンパス長 小林 未典 氏
群馬県私立通信制高校等連絡協議会 事務局 丸山 昌利 氏
進行 NPO法人DNA 代表理事 沼田 翔二郎 氏

・分科会Ⅱ「居場所を考える」

発表者 NPO法人みんなのうえん団 代表理事 轟田 あずさ 氏
NPO法人ははーず 代表理事 佐藤 美幸 氏
進行 渋川市社会福祉協議会 地域福祉課長 登坂 将志 氏

16:30 閉会 ※閉会后、17時まで交流の時間とします。

【申込方法】

グーグルフォームにて9月3日（火）までにお申し込みください。
<https://forms.gle/qETexkqzcQPum2277>

県内における民間支援団体等の連携・協働の輪が広がっています。
この機会に是非、ネットワークに参加してください。
ネットワークへの参加案内はこちらをご覧ください。
<https://www.g-shakyo.or.jp/news/62407.html>

2 第1回オンライン講演会「不登校の要因を考察する」

群馬大学医学部附属病院小児科子どもの心のケアネットワーク事業事務局では、令和6年度の群馬県委託事業としてオンラインで下記の講演会を開催します。
文部科学省委託事業「不登校要因調査結果」をもとに不登校の要因について専門家が考察します。

【概要】

日時：8月20日（火）15:00～16:30

場所：オンライン（Zoom使用）

講師：大須賀 優子氏

公益財団法人 子どもの発達科学研究所 副所長・主任研究員
現在同研究所で、子どもの問題行動（いじめや暴力行為）や不
適応の予防・介入支援に関するプログラム・支援者トレーニング・教材の開発に取り組んでいます。

対象：教育・医療・福祉関係者など子どもに関わる専門職の方
参加費・無料

【申込方法】

下記URLから8月13日までに申込みください。

https://docs.google.com/forms/d/1z00HbHXaAxKcC5C04db8h3ehci0BX2hF58kWDnHcQE8/viewform?edit_requested=true

問い合わせ先

子どもの心のケアネットワーク事業事務局（群大病院小児科内）

メール：kodomonet@ml.gunma-u.ac.jp

電話：070-7594-7220

3 第8回ぐんま青少年基本調査の結果公表【私学・青少年課】

近年、青少年を取り巻く環境は、少子高齢化、インターネット・スマートフォンの普及等による情報化の急速な進展、コロナ禍等に伴い、著しく複雑化し、青少年及びその保護者の意識、生活、行動も大きく変化しています。

県では、子ども・若者の健やかな成長と社会的自立を支えるため、青少年等の実態を的確に把握することを目的に定期的に調査を実施しています。（前回の第7回調査は平成28年に実施）

調査は、抽出により県内の小学5年、中学2年、高校2年生、小5・中2の教員、小5・中2の保護者、青年、相談機関等利用者を対象にアンケートを実施しました。（総回答数：2,992人）

【調査結果の概要】

＜インターネット利用に関する項目から＞
・インターネットで知り合った人とメールをしたり会ったりすること

について、保護者の7割強が「やめた方がいいと思う」と回答しているのに対し、中学生5割強、高校生は4割弱、青年は2割強にとどまっています。「普通に会ってもよいと思う」は、中学生で4.5%、高校生で12.4%ですが、青年では33.5%となっています。

・ブログやSNS等で自分に関する情報を発信することについては、「誰が見ているかわからないのでやめた方がいいと思う」は、保護者で約7割が回答しているのに対し、中学生では6割弱、高校生では4割強、青年では3割強にとどまっています。

調査結果の概要及び詳細は県HPをご覧ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/647642.html>

4 令和6年度【9月自殺予防月間】いのち・つなぐ講演会

県では、自殺や心の病についての正しい知識の普及を図るとともに、これらに対する偏見をなくすため、9月を「自殺予防月間」としております。

群馬県こころの健康センターでは「自殺予防月間」に合わせて、群馬県精神保健福祉協会との共催により「いのち・つなぐ講演会」を開催いたします。

今年度は、ゲームやゲーミフィケーション（ゲームの要素を学習や仕事に取り入れること）の研究に取り組む東京大学大学院情報学環特任研究員の坂井裕紀先生をお招きしてオンラインで開催します。

■配信期間

令和6年9月1日（日曜日）から9月30日（月曜日）まで
YouTube群馬県公式チャンネル「tsulunos」で申込者限定で動画配信

■対象 どなたでも参加できます（定員はありません）
申込み締め切り 9月20日（金）まで

詳細はHPをご覧ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/19816.html>

■問い合わせ先

群馬県こころの健康センター
電話 027-263-1166
メール : kokoro@pref.gunma.lg.jp

5 9/24 令和6年度ひきこもり支援関係職員研修会 ひきこもり支援の基本～多職種（みんな）で考えるひきこもり～

こころの健康センターでは、ひきこもり支援に携わっている関係者を対象に、ひきこもり支援の基本を学び、今後に生かせる対応方法について考える研修会を開催します。

【概要】

日時：9月24日（火）14:00～16:00
会場：群馬県立産業技術センター多目的ホール（前橋市亀里町884-1）
対象者：ひきこもり相談支援業務に従事している保健・福祉機関職員、生活困窮者自立相談支援機関職員、地域包括支援センター職員、県・市町村職員、就労支援機関職員、教育機関職員、家族会等関係支援団体等
定員：50名（定員を超えた場合のみ受講不可の連絡をします。）
内容：講義及び演習（グループワーク）

「ひきこもり支援の基本 ～多職種で考えるひきこもり～」
講師：群馬県立精神医療センター 医師 松岡 彩氏

申込み

8月30日（金）までに「ぐんま電子申請受付システム」で申込む
URL:<https://logoform.jp/form/9cfD/668198>

問い合わせ先

群馬県こころの健康センター 相談援助第二係
電話 027-263-1166（代）

6 8/27 ひきこもり家族教室『交流会・外部講師による講話』

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいるご家族を対象に家族教室を開催しています。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会としませんか。

【参加者の声】

「皆さんのお話から元気をいただけた」
「工夫できるところが見つかった」
「気持ちに余裕が持てるようになった」
「選択肢が広がった」 etc...

■教室の内容はCRAFT（認知行動療法）を参考にしています。
「家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなる」という研究結果があります。

■初めての方は個別の相談をお受けした後に、必要に応じて教室をご案内しています。参加をご希望される場合は、下記連絡先までご連絡ください。

■家族教室で使用するテキストは県ホームページに掲載しています。こちらからダウンロードしてください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/632294.html>

【8月の家族教室】

教室：8月27日（火） 第4火曜日 13:30～16:00
内容：『交流会・外部講師による講話など』
演題：「円滑なコミュニケーション～SSTで学ぼう～」
東京福祉大学 非常勤講師

前半：家族教室 13:30～15:00（受付13:00）

後半：家族の居場所 15:00～16:00（受付14:30）

◆ご家族同士で感想等をお話しする時間です。

◆前半「家族教室」に参加したことのある方は、後半「家族の居場所」のみの参加も可能です。

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）

連絡先：ひきこもり支援センター

専用ダイヤル 027-287-1121

月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始は除く）

※電話が集中した場合つながりにくいことがあります。

■支援者の方の参加もお待ちしております。
※支援者の方は 027-263-1166 へお願いします。

一般社団法人 日本子ども虐待医学会は、第15回学術集会を前橋市の昌賢学園まえばしホール（前橋市市民文化会館）で開催します。

この学会は、子ども虐待における医学的な取り組みの向上と子ども虐待に関する調査・研究ならびに知識の普及をはかり、関係機関と連携して虐待・ネグレクト家庭を支援し、子ども虐待予防を推進すること、ならびに専門職の育成を目指し 2009 年に発足いたしました。

第15回大会 溝口史剛（前橋市赤十字病院小児科副部長）会長から日頃から子ども虐待に取り組まれている皆様にも、是非ご参加していただきたいと、学術集会のご案内をいただきました。

【集会の概要】

会期：8月31日（土）9月1日（日）

会場：昌賢学園まえばしホール（前橋市南町3-62-1）

公式サイト：<https://g-regi.jp/15jamsan/index.php>

集会の詳細、申込み方法は公式サイトをご覧ください

【大会会長挨拶（HPより引用）】

第15回大会のテーマは「智（ち）・医（い）・絆（き）をあげて 守り抜く：子どもの君を、子どもだったあなたを」と致しました。単なる知識（知）を超えた本質を捉えた愛ある言動の実践である「智」と、健全な状態が損なわれた心身を癒す「医」と、お互いの強みを生かし支え合う「絆」を基盤に、地域社会という親子と直接的な連続性のある「縁」で結ばれた「円」の中で、医療者が親子、そしてそれを支える諸機関から信頼を勝ち得たうえで、支え、支えられる存在に如何になれるのかを改めて考え、そのヒントを参加者が地域社会に持ち帰ることの出来る学術集会にすべく、鋭意準備を進めているところでございます。

「守る」ではなく「守り抜く」としたところには、「生まれたばかりの新生児から、次世代の担い手となるヤングまでオールマイティーに継続して関わり続けることが出来る」という小児医療者の強みを活かし、小児医療者がリーダーシップを発揮すべきという思いを込めています。

8 | 群馬県消費生活センター「子ども・若者向け支援情報シリーズ35」 放置しているサブスクはありませんか！？

サブスク（サブスクリプションの略）とは、定額料金で商品やサービスを一定期間利用できる仕組みのことです。動画、音楽、電子書籍などの配信サービスをはじめ、食品、洋服、自動車など様々な商品やサービスをサブスク契約により利用することができます。

支払い方法も、クレジットカード払いや携帯電話のキャリア決済などから選択でき、手軽に利用できるものが多いです。

とても便利なサービスである反面、使用を止めたにも関わらず契約を解除せず放置したため、その後も料金が発生してしまうケースもありますので、注意しましょう。

【こんなことに気をつけましょう】

- ・キャリア決済やクレジットカード等の明細は毎月確認し、サブスク契約の請求を把握しましょう。
- ・アプリを端末からアンインストールするだけでは解約はできません。
- ・はじめは無料であっても、多くの場合、自動的に定額サービスに移行

し支払いが続きます。申し込む前に最終確認画面等で、有料プランへの移行時期や価格、解約方法などをよく確認しましょう。

※詳しい内容はこちらもご確認ください（国民生活センターHP）
https://www.kokusen.go.jp/mimamori/kmj_mailmag/kmj-support203.html

★こまったら、まず相談！！
消費者ホットライン「188（いやや！泣き寝入り！）」
※最寄りの消費生活センターを案内する全国共通3桁の電話番号です

《お問い合わせ》
群馬県消費生活センター 027-223-3001
<https://www.pref.gunma.jp/page/8392.html>

9 民間活動団体等 吉岡町社会福祉協議会 心の休憩所～Tsubomi～

吉岡町社会福祉協議会では、メンタルケアサポートHappyseedの不登校・ひきこもりサポートコーディネーターによる「傾聴セラピー」を心の休憩所～Tsubomi～で開設しています。

【心の休憩所～Tsubomi～】

学校や社会、外へ出るちょっとした勇気がほしい方へ
ひとりで、家族で、大きな不安を抱えてしまっていないですか。
その不安に寄り添う、1対1の傾聴セラピーを行います。
ありのままを受けとめ、心をすっきり軽くします。
内容についての秘密は守ります。お気軽にご相談ください（無料）。
⇒ <https://www.yoshioka-shakyo.jp/pdf/tsubomi.pdf?date=07>

開催日：毎月第2水曜日（変更になる場合があります）
時 間：一人60～80分（要予約） ①13：00～ ②14：30～
対 象：吉岡町在住の方
会 場：吉岡町社会福祉協議会 会議室
連絡先：吉岡町社会福祉協議会
電話 0279-54-3930
メール yoshioka.sya@ivory.plala.or.jp

その他
不登校・ひきこもりサポートコーディネーターの「傾聴セラピー」に関する問い合わせは吉岡町社会福祉協議会にお願いします。



次号は、2024年9月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活こども部
私学・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-898-3557

▼ FAX 027-226-2100
▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
▼ HP https://www.pref.gunma.jp/soshiki/50/#sp_headline_3
県HP「子ども・若者への支援」